

西城っ子祭り 2月22日(日)

今年、初めて2月に開催されました。発表は子ども達が考えた内容です。舞台から会場に質問するなど工夫が見られます。一年間の先生の指導の成果と子ども達の成長がみられました。

プログラム

学年	題名
3年	レッツゴー・パラレルワールド ～ジンザをすくえ! 西城小学校消防団参上!～
1・2年	にん・ニン・にんじや
5年	注文の多い料理店
4年	笑顔の輪を届けよう
6年	未来への一歩～働くって何だろう～

西城っ子
～150年の思い出を胸に～

西城っ子
～150年の思い出を胸に～

西城っ子
～150年の思い出を胸に～

西城っ子
～150年の思い出を胸に～



50年の時をこえて 2月22日(日)

西城小学校創立100周年記念として、その当時在学していた児童達が、50年後の自分に宛てた手紙などを入れた「タイムカプセル」が開封されました。劣化を抑えるガスが充填されており、手紙は最近書かれた様なきれいな状態でした。50年前の西城小学校100周年行事の写真や町内の地図などが披露され、久しぶりに会う同級生達は、長い時間、思い出を語っておられました。

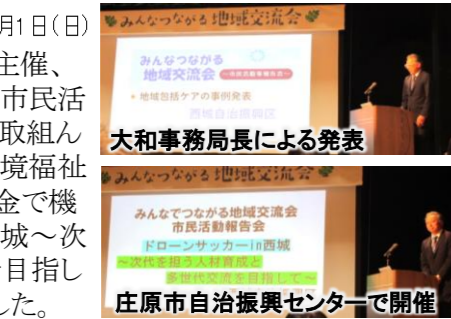
100名を超える方達に見守られタイムカプセルが掘り出されました。

自分宛の手紙を探します

タイムカプセル

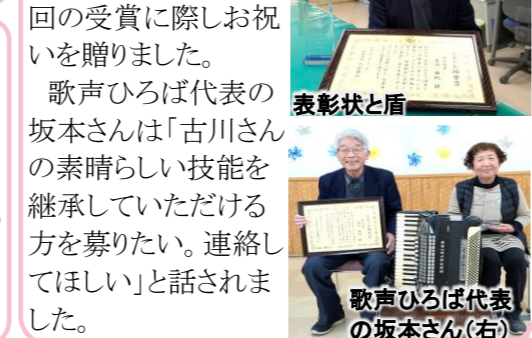
みんなつながる地域交流会 3月1日(日)

庄原市企画振興部自治定住課主催、庄原市自治振興区連合会共催の市民活動等報告会で西城自治振興区で取り組んでいる「地域包括ケアシステム(環境福祉部)」と自治振興区活動促進補助金で機材を揃えた「ドローンサッカーin西城～次代を担う人材育成と多世代交流を目指して～」の活動内容などを発表しました。



庄原市ふるさと功労賞

歌声ひろばなどで活躍されている古川由紀さんが庄原市から「庄原市ふるさと功労賞」を贈られました。西城町自治振興区連絡協議会では、今回の受賞に際しお祝いを贈りました。歌声ひろば代表の坂本さんは「古川さんの素晴らしい技能を継承していただける方を募りたい。連絡してほしい」と話されました。



オープンガーデンを懐かしんで 2010～2025 15年がんばった賜物

西城町で開催されたしょうばら花会議オープンガーデンのパネル展です。春のオープンガーデンにはお出かけください。



お知らせ 来館だけで西城自治振興センターにて「なみかカード・ほろかカード」で5ポイント!

健康マージャン 3月27日(金)13:30～ 4月10日(金)13:30～

都合により変更になることがあります 講師:宮原賢治

健康マージャン

昼の部 4月8日(水)13:30～
夜の部 4月22日(水)17:00～

独自ルールで行うマージャンで未経験者や初心者の方でも大歓迎です! 予約・参加費不要です。

西城自治振興区だより 2026.3.19(木) Vol.165

西城まちづくり便

〒729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします! 西城町観光協会とタイアップした情報サイトです 地域の情報などを発信します *こちらからお入りください

先ごろ、よく耳にするのですが、「西城暮らしと安心の会(協議体)」って、何なんですか?!

庄原市では、22の自治振興区にそれぞれにありますが、高野と西城では、二つの自治振興区が、一つの協議体を構成していますので、合わせて20の協議体があり、それぞれの名称で呼ばれています。ちなみに、「なんずかんずつながる会」とか、「さいたらの会」などと呼ばれています。なんずかんずとは、何かしてくれないか、困りごとを解決してほしい、助けてほしいというニュアンスの方言だそうです。そして、さいたらとは、「さあ、してみたら?！」とおせっかいを焼く、その呼びかけをする会というのですから、よく協議体の性格を表しているなあと感じています。西城では、暮らしと安心の会とよび、「良心の会」だど、呼ばれたお方がありました。庄原市社会福祉協議会の「支えあいの地域づくり～安心して暮らし続けるために～」のパンフレットには、取り組みの3つの柱として、①見守りの仕組みづくり ②集まりの場づくり ③支えあいの仕組みづくりが示されていて、このように書かれています。

～いつまでも住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けるためには、健康寿命を延ばす介護予防と地域の支えあい活動が日常的に、かつ一体的に行われるような地域づくりが必要です。庄原市社会福祉協議会は、庄原市から「庄原市生活支援体制整備事業」を受託し、各地域に生活支援コーディネーターを配置しています。安心して暮らし続ける支えあい活動に向けて、各自治振興区エリアの福祉の話し合いの場(協議体)では、住民主体による生活支援の仕組みづくりなど、定期的に地域の困りごとの解決方法を考え、支えあいの地域づくりを推進しています。～

なお、民生委員が新しく委嘱されました、年末の12月1日。民生委員さんは、心強い存在です。ちなみに、スローガンは「支え合う 住みよい社会 地域から」です。支え合いや助け合いを推進しようとするとき、地域の実情をよく知る民生委員といっしょに取組めば、よい成果が得られると思っています。引き続き、よろしくお祈りします。西城自治振興区 会長 田村富夫



人口減少問題研修会 2月17日(火)

合併20年の光と影・若者に選ばれる町づくりプラン

講師:前庄原市議会議長 林高正さん

【閉会あいさつ】 本日は、午後からの開催でしたが、人口問題にかかわる研修会に各自治会から、ご参加いただきました。西城自治振興区は、現状維持の取組をこれまで進めてきました。すなわち、西城紫水高校、JR芸備線、西城市民病院の存続です。しかし、林様のお話から人口問題に関しては、西城自治振興区がリーダーシップを発揮して、一歩踏み出すべきではないかという熱いおもいで、背中を押していただいたような感想を持ちました。今後、10年後、20年後の西城を描いていく具体的な取組が必要だと感じました。何もしなければ、予測された人口減少が続いていくのだと思います。振興区の窓口に人口問題減少に係る町おこしに係る専門員的な人を配置していくことを考えていく時期に来ているようです。3月にある議員と語る会でも、人口問題をテーマに意見交換を行う予定です。本日の研修で学んだことをいかして、未来の西城を語り合いたいと思います。貴重な提言をいただいた林様、ご参加いただいた各自治会の代表の方に今一度感謝申し上げます。ありがとうございました。 文責 副会長 吉浪謙三



テーマ「合併20年の光と影・議員生活20年を振り返る」講演会



講師の林高正さん(後列左から三人目)と前庄原市社会福祉協議会会長 山内文雄さん(前列左から二人目)と参加役員

広島県立総合体育館ドローンサッカー体験会 2月28日(土)

公益財団法人広島県教育事業団(広島県立総合体育館)主催、日本ドローンサッカー連盟広島支部・西城自治振興区協力で広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)武道場にて、ドローンサッカー体験会を開催しました。広島県立総合体育館館長と西城自治振興区事務局長が旧知の仲で今回のイベントが開催の運びとなりました。

ドローンサッカーはまだまだ知られていない状況です。今回の体験会は、西城自治振興区のスローガン「安心・安全で元気なまちづくり」、「ドローンサッカーで元気なまちづくり」を周知するのが目的の一つです。もう二つ、目的があります。一つ目は西城町の紹介。二つ目は西城紫水高校のPRです。

午後1時から3時間、50人がドローンサッカーを体験しました。ドローンボールがゴールするたび歓声が上がります。参加者の皆さんに喜んでいただけたと自負しています。今回の体験会は西城から広島までの移動もあり大変でした。多くの関係者の皆様のご協力で体験会は事故もなく終えて大成功でした。帰路、西城のスタッフは笑顔でした。



西城町観光協会の協力によるPRコーナー



PRコーナーに関心をよせる参加者



西城紫水高校の説明は西城紫水高校現役生徒



西城紫水高校のPRコーナー



参加者とスタッフの集合写真



広島県立総合体育館武道場



ドローンサッカーの説明を聞く参加者



ドローンサッカー体験中

続、芸備線が好き! 「鉄橋と川と山の雪景色」

3年ぐらい前に木次線が廃線になるかもしれないと聞きました。春夏秋冬と木次線の撮影に行く際、西城町の鉄橋と川の溪流を見て撮影しようと思いました。西城に20回以上は来ています。特に芸備線の三次駅から備後落合駅の風景をもっともっと皆様に知ってもらいたいと撮影を続けています。

冬は鉄橋と川と雪の積もっている遠くの山の景色。春は鉄橋の下にある小さな公園からの桜の景色。いずれも絶景です。 安芸高田市在住 沖田岩雄 談



沖田岩雄さん(ご自身で撮影された写真でカレンダーを制作)と田村会長

金屋子神社火災想定防災訓練 2月18日(水)

五日市の金屋子神社が燃えてしまう!?住民の力で金屋子神社を守ろう!!と、五日市公盛会を中心とした地域住民と備北区消防組合とで火災訓練が行なわれました。

参加者は消火器を持ち、長い階段を上がり消火訓練です。その後、消防隊員により消防車からホースをつないでの放水訓練でした。防災は日頃の訓練が大切なことと、地域の結束が必要なことを学びました。

令和8年3月1日から、林野火災予防の実効性向上を目的とした「林野火災注意報・警報」制度が始まります。令和7年2月に岩手県大船渡市で約3,370haが焼損し鎮圧に約2週間を要した事例や、岡山県・愛媛県での大規模火災など、深刻な被害が相次いでいます。こうした状況から総務省消防庁などでの検討を経て火災予防条例が改正され、全国的な新制度の運用が決定しました。 庄原消防署長 前田拓哉 談

五日市公盛会自治会



水消火器で訓練

消防隊員による放水訓練



訓練に参加された五日市公盛会の方達と備後西城駅から駆けつけた観光協会岡崎さんと消防隊員のみなさん

♪ふるさと♪を歌い、心あたたまる一日 3月1日(日)



土井一さんのギター弾き語り

ティータイムから始まり、記念撮影、土井一(愛善苑理事長)さんのお話と歌、シルバーリハビリ体操。昼食を挟んでお楽しみタイム、ビンゴゲームと今回も盛り沢山の内容です。土井さんのギターでみんなで「ふるさと」を歌い涙した心あたたまる一日でした。



心あたたまる一日に参加された五町自治会のみなさん

講演「戦後80年を振りかえって」 2月11日(水・祝)

戦争の話を久しぶりに聞きました。八鳥ふれあいサロン(2月11日)の午前中の講和です。講師は蓮正寺 中山道(おさむ)先生です。実は私が西城高校(当時、西城小学校の川をはさんで反対側に校舎がありました)1年生の時の国語の先生でした。当時、大恋愛で結婚されたことを思い出します。現在96歳で奥様も90歳を超えられ、元気なお姿にも感銘をうけました。



中山道さんの講演会



中山道さん(中央)を囲む教え子の古川由紀さん(左から三人目)と八鳥自治会のみなさん

先生は「当時、原爆後広島駅に降り立ち、前をみたら宇品の海が見えた」と話され、当時の悲愴さを感じました。私たちは生まれたばかりの時代ですが、戦争はささいな人間同士のあらそいから発生すると思いますが、おろかな人間はいつまでも争いはなくなるのでしょうか?おしゃか様になれる様、その努力こそが生きているあかしでしょうか? そんなことを考える貴重なひと時でした。 中山道先生の教え子 古川由紀 談